

10

肝試し

『大鏡』

学習課題

接続助詞「に・を・が」で

50

不気味に雨の降る夏のある夜、花山院は殿上の間に控えていた藤原道隆(中の関白殿)、道兼(粟田殿)、道長(入道殿)の三兄弟に、それぞれ豊樂院・仁寿殿の塗籠・大極殿に行くよう命じる。肝試しをしようというのである。

「子四つ」と奏して、かく仰せられ議するほどに、丑にもなりにけむ。「道隆は右衛門の陣より出でよ。道長は承明門より出でよ」と、それをさへ分かつたせ給へば、しかおはしましあへるに、中

の関白殿、陣まで念じておはしましたるに、宴の松原のほどに、そのものともなき声どもの聞こゆるに、術なくて帰り給ふ。粟田殿は、露台の外まで、わななくわななくおはしたるに、仁寿殿の東

面の砌のほどに、軒と等しき人のあるやうに見え給ひければ、ものもおぼえて、「身のさぶらはば

こそ、仰せごとも承らぬ」とて、おのおの立ち帰り参り給へれば、御扇をたたきて笑はせ給ふに、

入道殿はいと久しく見えさせ給はぬを、いかがと思し召すほどにぞ、いとさりげなくことにもあら

ずげにて参らせ給へる。「いかにいかに」と問はせ給へば、いとどのどやかに、御刀に削られたる物を取り具して奉らせ給ふに、「こは何ぞ」と仰せらるれば、「ただにて帰り参りて侍らむは、証さぶらふまじきにより、高御座の南面の柱のもとを削りてさぶらふなり」と、つれなく申し給ふに、いとあさましく思し召さる。

Table with 3 columns (A, B, C) for question 1.

Table with 5 columns (a, b, c, d, e) for question 2.

Table with 3 columns (ウ, イ, ア) for question 3.

問4 語句 傍線部①「子四つ」は、現在の何時ごろにあたるか。最も適当なものを次から選び、記号で答えよ。
ア 午後八時 イ 午後十一時
ウ 午前一時 エ 午前四時

復習問題
1 次の傍線部の接続助詞の働きを、後の選択肢から選んで記号で答えよ。
2 男も女も恥ぢかかしてありけれど、男はこの女をこそ得めと思ふ。
3 いたまじうするものから、下戸ならぬこそ男はよけれ。
ア 逆接仮定条件 イ 逆接確定条件

Table with 3 columns (1, 2, 3) for the review problem.

語注
\* 塗籠ー周囲を壁で厚く塗り込めた部屋。
\* 露台ー紫宸殿と仁寿殿との間にある屋根のない板張りの舞台。
\* 砌ー軒下の雨露を受ける石を敷いた所。
\* 高御座ー即位などの儀式のときに、大極殿の中央に置く天皇の座席。

問6 傍線部③について、
(1) 文法 「申す」「給ふ」の敬語の種類を答え、それぞれだれに対する敬意を表しているか。次の選択肢を用いて、記号で答えよ。
ア 花山院 イ 道隆 ウ 道兼 エ 道長 オ その他

問7 内容 本文の内容として適当なものを次から選び、記号で答えよ。
ア 帝の命を受けて、中の関白殿は承明門から、入道殿は右衛門の陣から出て行った。
イ 中の関白殿は、軒に届くほどの丈の高い人物を見つけ震え上がった。
ウ 粟田殿は、なんとも得体の知れない声を聞いて、無我夢中で戻ってきた。
エ 入道殿は何事も無い様子で、行った証拠として柱の下を削ったものを差し出した。

文法攻略
アクセス10 接続助詞「に・を・が」で
1 接続助詞「に・を・が」…連体形に接続
(1) 順接(確定条件) 「～ので…から…のために」
(2) 逆接(確定条件) 「～のに…が」
(3) 単純接続 「～と…と…」
(4) 打消(打消接続) 「～ないで」